

当資料は、4ページ組みとなります。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。そのため、投資元金が保証されているものではありません。当資料の3ページ目に『主な投資リスク』ならびに『ご留意いただきたい事項』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

追加型投信／海外／株式

ラッセル 外国株式ファンド I

RUSSELL INTERNATIONAL EQUITY FUND

◆運用成果

基準価額		
前月末	今月末	前月末比
6,660円	6,817円	157円

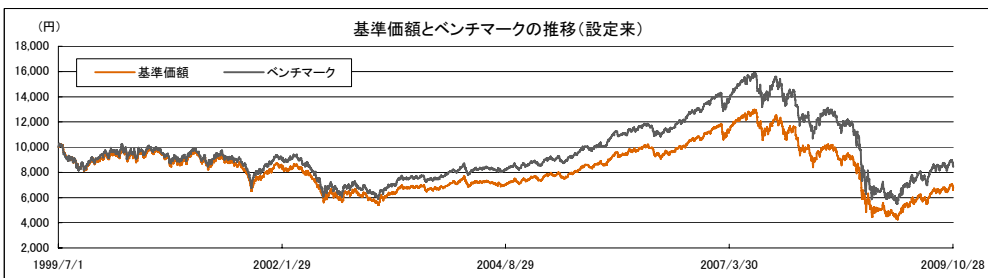
純資産総額: 651百万円

- ・ラッセル 外国株式ファンド I は、その資金を主としてラッセル 外国株式マザーファンドに投資して効率的な運用をいたします。
- ・ラッセル 外国株式マザーファンドは、外国の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的成長を図ることを目的とします。
- ・ベンチマーク MSCI KOKUSAI((配当込み))

期間別騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年間	過去3年間	設定来
ファンド	2.4%	5.9%	23.8%	16.9%	-35.3%	-31.8%
ベンチマーク	-0.6%	2.0%	16.6%	10.3%	-33.9%	-15.9%

設定日	1999年7月1日
償還日	無期限
決算日	毎年4月18日(原則)
信託報酬率	年2.4885%(税込)



収益分配金実績(税引前)

8期(2007年4月18日)	0円
9期(2008年4月18日)	0円
10期(2009年4月20日)	0円
設定来分配金累計	0円

- * 基準価額は信託報酬控除後のものです。また、ベンチマークは設定日を10,000円として指数化したものです。
- * 運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークのグラフは当該指数の実績を示すものであり、当ファンドの実績あるいは将来の成果を保証するものではありません。

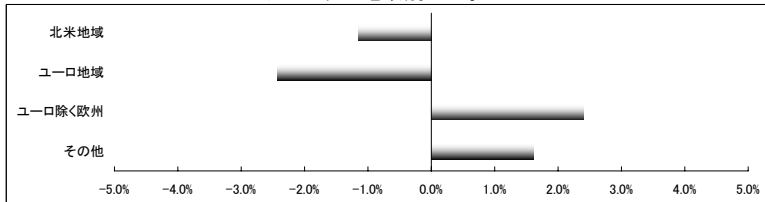
MSCIインデックスに関する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他、あらゆる形態を用い、インデックスの全部または一部を複製、配付、使用することは禁じられています。またこれらの情報は信頼のおける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。

◆ファンドの内容

地域別配分

地 域	組入比率※1	ベンチマーク
北 米 地 域	52.1%	57.9%
ユ - ロ 地 域	16.9%	17.7%
ユ - ロ 除 く 欧 州	24.7%	17.8%
そ の 他	6.4%	6.5%

ベンチマークの地域別パフォーマンス



株式保有上位10銘柄

組入銘柄数: 351 銘柄

銘 柄	通貨	組入比率※2
NESTLE SA-REG	CHF	2.1%
JPMORGAN CHASE & CO	USD	1.6%
INTEL CORP	USD	1.5%
GLAXOSMITHKLINE PLC	GBP	1.3%
APPLE INC	USD	1.1%
CIE FINANCIERE RICHEMON-BR A	CHF	1.1%
LVMH	EUR	1.1%
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	USD	1.1%
TELEFONICA S.A.	EUR	1.0%
THE WALT DISNEY CO	USD	1.0%

外部委託先運用会社※3

運用会社	運用スタイル	目標配分割合※4
マッキンリー・キャピタル・マネジメント	グロース型	10%
マーシコ・キャピタル・マネジメント	グロース型	20%
ハリス・アソシエイツ	バリュー型	15%
エムエフエス・インスティテューショナル・アドバイザーズ	マーケット・オリエンテッド型	30%
アローストリート・キャピタル	マーケット・オリエンテッド型	25%

- ※1 組入比率はマザーファンドにおける株式および先物等の評価額合計に対する割合に、当ファンドにおけるマザーファンドの組入比率を乗じて得た割合です。
- ※2 組入比率はマザーファンドにおける株式評価額合計に対する割合に、当ファンドにおけるマザーファンドの組入比率を乗じて得た割合です。
- ※3 マザーファンドで採用している外部委託先運用会社(「フランク・ラッセル・カンパニー」を除く)です。
- ※4 マザーファンドにおける目標配分割合で、キャッシュ・エクワイティゼーション(流動資産の株式化)部分を除きます。

◆運用状況

10月の海外株式相場は一進一退の展開となりました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比0.6%下落)。米国株式相場は、月前半は、市場予想を上回る企業決算や経済指標等を受けて景気回復に対する楽観的な見方が広がり、上昇基調となりました。しかし、月後半には、市場予想を下回る経済指標等を受けて景気回復への期待感が後退したこと等から下落基調に転じました。月末には、7-9月期の実質GDP(国内総生産)(速報値)の改善等を受けて反発する局面もありましたが、最終的に前月末を下回る水準で終えました。欧州株式相場もほぼ同様の展開となりました。為替市場では、対米ドル、対ユーロともに円安となりました。こうした中、ラッセル 外国株式ファンド I の基準価額は前月末比2.4%上昇しました(ベンチマーク比較のため期間調整したマザーファンドの基準価額は前月末比0.3%の下落)。10月は、5社中2社がベンチマークを下回ったものの、残り3社がベンチマークを上回り、マザーファンド全体でベンチマークを上回りました。グロース型のマッキンリーは、資源高を受けて鉱山会社銘柄等がプラスに寄与した他、中国、ブラジル等のエマージング諸国への投資がプラス寄与となり、ベンチマークを上回りました。一方、バリュー型のハリスは、金融および一般消費財・サービスセクターのオーバーウェイト等がマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。なお、マザーファンド全体では、主に銘柄選択と国別配分がプラスに寄与し、ベンチマークを上回りました。

当資料は、4ページ組みとなります。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。そのため、投資元金が保証されているものではありません。当資料の3ページ目に『主な投資リスク』ならびに『ご留意いただきたい事項』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

追加型投信／海外／株式

ラッセル 外国株式ファンド I

RUSSELL INTERNATIONAL EQUITY FUND

外部委託先運用会社リスト

ラッセル 外国株式マザーファンド

ラッセル 外国株式マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

マッキンリー・キャピタル・マネジメント(米国) <グロース型> 10%

マッキンリーは、株価のモメンタム、企業収益の伸び、および収益面でのポジティブ・サプライズ(予想を上回る決算発表等)に注目する「グロース(成長)型運用」を行います。同社では、まず40,000以上の銘柄を対象に定量的な分析を行うことによって銘柄の絞り込みを行います。この結果に定性的な分析を加え、最終的には45-60銘柄程度から成るポートフォリオを構築します。

マーシコ・キャピタル・マネジメント(米国) <グロース型> 20%

マーシコは、トップダウン・アプローチとボトムアップ・アプローチを組み合わせた運用を行います。今後株価形成に影響を与えると考えられる市場のテーマおよびマクロ経済見通しをベースに、個別企業について面談を含む詳細な調査を行い、銘柄の絞り込みを行います。テーマやマクロ経済動向の観点を銘柄選択プロセスに織り込むことにより、多様な投資アイデアが生まれ、成長度の高い銘柄の発掘に繋がっています。

ハリス・アソシエイツ(米国) <バリュー型> 15%

ハリスは、定性および定量分析に基づいて割安な銘柄を発掘し、それらに長期的な観点から投資を行います。具体的には、今後収益を生み出すことが期待でき、かつ株主を意識した経営を行っている割安な銘柄を投資対象とします。ベンチマークをあまり意識しない運用を行う結果、同社の構築するポートフォリオの国別およびセクター別の配分は、ベンチマークから大きく乖離することもあります。1銘柄、1セクターへのアクティブベット幅は厳格にコントロールされます。

エムエフエス・インスティテューショナル・アドバイザーズ(米国) <マーケット・オリエンテッド型> 30%

MFSはファンダメンタルズ分析に重きを置いた銘柄選択を行います。銘柄選択プロセスは、各国に配されたアナリストが各国の事情を加味した企業分析を行った後、当該アナリストから成るグローバル・セクター・チームにおいて国・地域を越えた同業他社との相対比較を行うことによって推奨銘柄を選定、これを基にポートフォリオ・マネージャーが相対的に魅力度の高い銘柄を選択するというものです。ポートフォリオは、緩やかなグロース傾向を持ち、企業規模は市場平均よりやや小型寄りとなります。

アローストリート・キャピタル(米国) <マーケット・オリエンテッド型> 25%

アローストリートはグローバル株式運用における豊富な経験を生かし、多元的なクオンツ型アプローチにより世界の株式市場に存在する魅力度の高い銘柄を探し出します。同社の主な超過収益の源泉は個別銘柄選択ですが、国やセクターの持つ影響も重視しており、国およびセクターで分けたバスケット毎に投資家行動などに起因する価格の歪みを捉えていきます。こうした「マトリックス・アプローチ」と呼ばれる手法は同社の調査・運用プロセスの特徴となっており、グローバル株式運用会社としての強みともなっています。

(注) キャッシュ・エクイタイゼーションや他の外部委託先運用会社の変更時における資産の移転管理および一時的な運用等のために、上記の外部委託先運用会社の他に、「フランク・ラッセル・カンパニー」を採用しています。

ラッセル・インベストメント株式会社

ラッセル・インベストメント株式会社は、世界46か国のお客様に総合的な資産運用サービスを提供するラッセル・インベストメント グループの日本における拠点です。これまでラッセル・インベストメント グループが世界で提供してきた「マルチ・マネージャー・ファンド」を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資家の皆様にご提供致しております。

ラッセル・インベストメント グループ

ラッセル・インベストメントは、現在世界46か国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広い業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約16兆円※となっています。(※ 2009年9月末現在、為替換算レート: 89.53円/ドル)

当資料は、4ページ組みとなります。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。そのため、投資元金が保証されているものではありません。当ページに『主な投資リスク』ならびに『ご留意いただきたい事項』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

追加型投信／海外／株式

ラッセル 外国株式ファンド I

RUSSELL INTERNATIONAL EQUITY FUND

◎主な投資リスク

＜以下に記載する基準価額の主な変動要因により、投資元金を下回るおそれがあります。＞

※投資リスクおよび留意点はこれらに限りません。詳細は投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

1. 株価変動リスク

株価は国内外の景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受けます。一般に、株価が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

2. 株式の発行会社の信用リスク

株式の発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

3. 流動性リスク

当ファンドで短期間に相当金額の換金申込みがあった場合、組入株式を売却することで換金代金の手当てを行います。組入株式の市場における流動性が低いときには、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があり、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

4. 為替変動リスク

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

5. カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因になり、また投資方針に沿った運用ができない可能性があります。

◎ご留意いただきたい事項

当資料はラッセル・インベストメント株式会社が当ファンドの運用状況等に関する情報の提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得のお申込みにあたっては、必ず投資信託説明書(目論見書)を販売会社でお受取りになり、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

1. 当ファンドは主に外国の株式を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格の下落ならびにそれらの発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、当ファンドの基準価額が下落し損失を被ることがあります。したがって、投資元金が保証されているものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客様が負います。

2. 当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等を伴う資金変動等があり、その結果当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

3. 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他合理的な事情があると委託会社が判断したときは、委託会社は信託約款の規定に従い、当ファンドの受益権の取得申込み、換金申込みの各受け付けを中止すること、および既に受け付けた取得申込み、換金申込みの各受け付けを取り消す場合があります。

4. 信託約款で定められた信託期間中であっても、信託契約の一部解約等の影響により、純資産総額が小さくなった場合等には期日を繰り上げて償還することがあります。

5. 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元金の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客様が負います。

6. 投資信託は、預金、保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

7. 金融商品取引業者(従来の証券会社)以外の登録金融機関でご購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

8. 法令・税制・会計方法等は今後変更される可能性があります。

9. 投資信託は、書面による契約解除(クーリング・オフ)の対象ではありません。

10. 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料は、4ページ組みとなります。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。そのため、投資元金が保証されているものではありません。当資料の3ページ目に『主な投資リスク』ならびに『ご留意いただきたい事項』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

追加型投信／海外／株式

ラッセル 外国株式ファンド I

RUSSELL INTERNATIONAL EQUITY FUND

ラッセルのマルチ・マネージャー運用の特徴

- 世界中から優れた運用会社を厳選**
ラッセルが世界各国に展開する各拠点をベースに、約90名^{※1}の“運用会社調査の専門家”が外国株式を含む約8,000^{※2}の運用商品を徹底的に調査し、優れた運用会社を発掘します。(※1:2009年6月末現在、※2:2008年12月末現在)
- 運用スタイル毎に優れた運用会社を結集し、最適なポートフォリオを構築**
複数の運用スタイルに分散し、それぞれの運用スタイルにおいて優れた運用会社を採用することで、日々変化する投資環境の中にあっても、ファンド全体として中長期的に安定した運用成果を目指します。
- 厳選された運用会社を継続的に監視、最適と判断される状態を目指す**
いかに優れた運用会社でも、運用会社内外の状況の変化により、その運用力を発揮できない場合があります。そこでラッセルでは継続的な調査活動に基づき、運用会社の変更や追加等を行い、最適と判断される運用会社の構成を目指します。

お申込みメモ

※詳細については投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

お申込み	原則として毎営業日。ただし、ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所のいずれかが休業日の場合には、お申込みができません。お申込みの受付時間は、午後3時(半日営業日の場合は午前11時)までとなります。 なお、2009年9月28日以降、ご購入のお申込みの受付を停止します。
お申込単位	10万円以上1円単位です。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
ご換金のお申込み	原則として毎営業日。ただし、ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所のいずれかが休業日の場合には、お申込みができません。お申込みの受付時間は、午後3時(半日営業日の場合は午前11時)までとなります。ご換金の代金は原則として、お申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。なお、大口のご換金は制限することがあります。
ご換金価額	ご換金申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	原則として無期限です。 なお、信託の終了(繰上償還)に係る手続きを行っており、信託を終了(繰上償還)することとなった場合、信託期間は2010年1月18日までとなりますので、ご注意ください。
決算	年1回(毎年4月18日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	決算時に基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないことがあります。分配金は原則として税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。なお、分配金を再投資せず、お受け取りになることも出来ます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	当ファンドは、課税上、株式投資信託として取扱われます。 個人の受益者については、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時および償還時の価額から取得費を控除した差益に対して課税されます。 (2009年10月末日現在の情報です。税法が改正された場合等は、上記の内容が変更になる場合があります。)

当ファンドの諸費用について

下記の費用(手数料等)については、お申込金額、保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することができません。

①お客様に直接ご負担いただく費用

お申込手数料	ありません。
ご換金手数料	ありません。
信託財産留保金	ありません。

②保有期間中に間接的に負担いただく費用(信託財産から差し引かれるものでお客様に別途ご負担いただくものではありません。)

信託報酬	純資産総額に年2.4885%(税抜2.37%)の率を乗じて得た金額とします。 ※税法が改正された場合は、消費税等相当額が変更になることがあります。 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用をいたします。当ファンドが主要投資対象としますマザーファンドは外部委託先運用会社に運用委託をしております。その費用は、上記信託報酬に含まれております。
その他費用	組入れ有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管および先物・オプション取引に要する費用、当ファンドの一部解約に伴う支払資金の手当てを目的とした借入金の利息、信託事務の処理に要する費用、信託財産に関する租税、受託会社が立て替えた立替金の利息・借入金の利息等 ※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、あらかじめ料率、上限等を記載することができません。

ファンドの関係法人

委託会社	ラッセル・インベストメント株式会社(信託財産の運用の指図等を行います。) 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第196号 加入協会: (社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会/日本証券業協会 TEL 03-5411-1515(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時(半日営業日の場合は午前9時~午前11時)) http://www.russell.com/jpin/
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(信託財産の保管・管理等を行います。)
販売会社	株式会社 三菱東京UFJ銀行(当ファンドの販売業務等を行います。) 登録金融機関: 関東財務局長(登金)第5号 加入協会 日本証券業協会/(社)金融先物取引業協会